

17:1 さて、アブラムが九十九歳のとき、  
【主】はアブラムに現れ、こう言われた。  
「わたしは全能の神である。あなたはわたしの前に歩み、全き者であれ。

17:2 わたしは、わたしの契約を、わたしとあなたとの間に立てる。わたしは、あなたを大いに増やす。」

17:3 アブラムはひれ伏した。神は彼にこう告げられた。

17:4 「これが、あなたと結ぶわたしの契約である。あなたは多くの国民の父となる。

17:5 あなたの名は、もはや、アブラムとは呼ばれない。あなたの名はアブラハムとなる。わたしがあなたを多くの国民の父とするからである。

17:6 わたしは、あなたをますます子孫に富ませ、あなたをいくつもの国民とする。王たちが、あなたから出てくるだろう。

17:7 わたしは、わたしの契約を、わたしとあなたとの間に、またあなたの後の子孫との間に、代々にわたる永遠の契約として立てる。わたしは、あなたの神、あなたの後の子孫の神となる。

17:8 わたしは、あなたの寄留の地、カナンの全土を、あなたとあなたの後の子孫に永遠の所有として与える。わたしは彼らの神となる。」

17:9 また神はアブラハムに仰せられた。  
「あなたは、わたしの契約を守らなければならぬ。あなたも、あなたの後の子孫も、代々にわたって。

17:10 次のことが、わたしとあなたがたとの間で、またあなたの後の子孫との間で、あな

たがたが守るべきわたしの契約である。あなたがたの中の男子はみな、割礼を受けなさい。

17:11 あなたがたは自分の包皮の肉を切り捨てなさい。それが、わたしとあなたがたとの間の契約のしるしとなる。

17:12 あなたがたの中の男子はみな、代々にわたり、生まれて八日目に割礼を受けなければならない。家で生まれたしもべも、異国人から金で買い取られた、あなたの子孫ではない者もそうである。

17:13 あなたの家で生まれたしもべも、金で買い取った者も、必ず割礼を受けなければならない。わたしの契約は、永遠の契約として、あなたがたの肉に記されなければならない。

17:14 包皮の肉を切り捨てられていない無割礼の男、そのような者は、自分の民から断ち切られなければならない。わたしの契約を破ったからである。」

子孫の祝福のためには子どもが不可欠ですが、アブラムは99歳になっており高齢にもかかわらず、子が与えられるまでに13年も待ったことがわかります。全能の神の語原は「エル・シャダイ」で全てを備えた神という意味です。全てを備えておられるので、この神様に頼り従えば良いのです。

ですから「全き者であれ」とは、完全無欠な人間になりなさいという意味ではなく、神をあくまでも信頼する全き信仰で生きなさいという意味です。アブラムが信頼しきれずにハガルに子どもを生ませたことも思い起こされます。

「多くの国民の父」の語原はアブ・ハモーンです。アブラムの名前をアブラハムと変えたことで、その自己像を常に持たせようとの御心です。誰で

も神様の目で自己像をつくる必要があります。神様の祝福や約束が実現するために、私たちは見えるものや出来事を求めますが、実は必要なものは自分自身の整えなのです。

割礼は男子の性器の先端の皮を切ることですが、衛生上の意味もあったようで、他の地域でも行われていました。神様はこれに主に従う決心とその印の意味を持たせたのです。それは一生の印であり、親から子に伝えるものともなりました。新約では心に割礼を受けるように命じています。生涯の決心を明確にしましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

